

ぴーぷる ピープル



「日本語で意思疎通を図るのなら、敬語は欠かせない」。徳島県労働者福祉協議会が開く定住外国人向け敬語講座で、講師を務める

外国人に敬語伝える

JTMとくしま日本語ネットワークの玉置房指導部長(59)は徳島市幟町3、写真は強調する。

受講生は米国や中国などが母国の5人。日常のさまざまな場面を想定した敬語の使い方を、3人の仲間と共に教えている。イラストを多用するなど工夫を凝らしており「受講生が理解したときに笑顔を見せてくれるのがうれしい」。

米国に留学した際、英語習得に苦勞した経験があり「県内の外国人の役に立ちたい」と12年前、ネットワークに加入した。県国際交流協会などでも日本語を教えているが「指導者としてはまだまだ。もっと分かりやすい授業を目指す」と意欲は尽きない。

(木村恭明)